

「社会化」という言葉をご存じですか？ 犬のしつけに関するテーマではよく耳にする言葉ですが、猫についても近年、社会化が重要視されつつあります。

社会化とは、動物が生涯で経験することによって、小さいうちから慣れさせておくことです。例としては、爪切りや歯みがきなどの生活習慣、いろいろな人との触れ合い、物音やにおい、感触などが挙げられます。

こうしたことに子猫のうちから慣れさせておくと、成長しても精神的な余裕を持った生活を送ることができます。逆に大人になってからやろうと思ってもなかなか難しいも



18

猫も社会化

のです。人間と同じですね。

社会化を進め、いろいろなことに慣れさせるには、猫が「楽しい、うれしい」と思えるように、飼い主が導くことが重要です。決して無理強いはせず、ゆっくりと行いましょう。

例えば、歯みがきの習慣を付けたいという場合にはまず、「歯ブラシが気持ちのいいもの」と思ってもらおうようにします。歯ブラシの感触は、猫同士が毛繕いをするときの舌の感触に似ています。そのため、子猫のうちから歯ブラシで顔の周りなどをなで

るようにするといいと思います。

猫の社会化を進めるのに適した期間は、生後3カ月頃までととても短いのが特徴です。この期間でどれだけ進められるかによって、将来の猫との生活が大きく変わってくるのです。

動物病院に小さい頃から慣れさせておくことも、社会化の一つとしてとても大切です。健康管理を兼ねて、動物病院を受診してみるのもいいかもしれませんね。

(チームホープ 青山動物
病院院長 青山幸利)